

TOKYO  
LEATHER  
PIGSKIN

2021



TOKYO LEATHER PIGSKIN 2021

東京都／東京製革業産地振興協議会

東京レザーファッションフェア 2020（ピギーズ・スペシャル）に係る  
都内皮革鞣製業の広報・宣伝業務

JFW ジャパン・クリエーション 2021

主催：一般社団法人日本ファッショングループ推進機構

JFW テキスタイル事業運営委員会

後援：経済産業省、独立行政法人中小企業基盤整備機構、他

産業労働局商工部 経営支援課  
2020年11月発行  
登録番号(2)22



古紙配合70%の再生紙を使用しています。  
環境に配慮したインキを使用しています。

# 革が創られる街 東京・すみだ

東京産の皮革『ピッグスキン』その多くはスカイツリーのある街『墨田区』で生産されています

## ■歴史ある水のまち・すみだ

隅田川と荒川に挟まれ、街の中を旧中川、北十間川などが流れる墨田区。春夏秋冬を通じて、折々の美しい表情を魅せる水辺に恵まれたこの地は、水と共に生きる「川の手」として、「全国水の郷 百選」にも選ばれています。

江戸時代から、商業地や住宅地として栄えてきた歴史があり、墨堤の桜、隅田川の花火、国技館の大相撲、伝統手工芸、史跡など、さまざまな伝統文化がいまに息づく、魅力ある街となっています。

## ■近代軽工業発祥の地

墨田区に皮革産業が発展したのは19世紀後半。近代軽工業発祥の地とも言われる墨田区は、瓦、染色、木材などから始まり、明治以降はメリヤス、マッチ、日用品など様々な産業が発達しました。特に家畜は「捨てるところがない」といわれるほど、すべてが利活用されてきました。

脂は油脂や石鹼に、毛はブラシに、皮は皮革、ゼラチン、コラーゲンに、骨は、油脂、ゼラチン、肥料、飼料にと、無駄にすることなく製品に生まれ変わらせたのも先人達の技術力です。その技術を伝承する工場が今もなお、この墨田の地でものづくりを続けているのです。



## ■多彩な表現力をもつピッグスキン

ピッグスキンは、軽さ、通気性、摩耗に強いなどの特徴を持っています。銀面(表面)には“3個1組”的独特な毛穴を持ち、そのため他の皮革よりも通気性にすぐれています。古くから革靴の内側の革(ライニング)に、ピッグスキンが多く使われてきました。

かつては、国内皮革産業が盛んだったので、国内原皮100万枚、輸入原皮約900万枚あった時期もありました。最近は、国内での皮革生産が減っており、それについて牛皮の輸入量が少なくなっているので、国産原皮の割合が多くなってきています。国内原皮の65%～75%(65万枚～70万枚)が国内消費、輸入原皮が40万枚～50万枚となっております。

骨のコラーゲンは、かつてインドなどで風化した牛骨を輸入して写真用ゼラチンなどを製造していました。日本では、骨から油を抽出したり、骨粉として肥料や飼料に利用したりしています。

さらに近年は、染色、仕上げ、型押し、箔押し、インクジェットプリント、転写フィルムなど、各社の努力によって様々な加工法が生み出されています。ここに掲載された素材だけではなく、他にも多彩なバリエーションがあります。

あなたのお気に入りの素材が見つかりましたか？

## メイドイン 東京の ピッグスキン

「革」といえば「牛革」が思い浮かぶかもしれません、実は私たちは羊、山羊、馬、豚など様々な動物の革を利用しています。特に関東では「豚」が一大消費地でもあり、その食肉の副産物である「豚の皮」を捨てずに再利用することで、しなやかなピッグスキンを生産してきました。

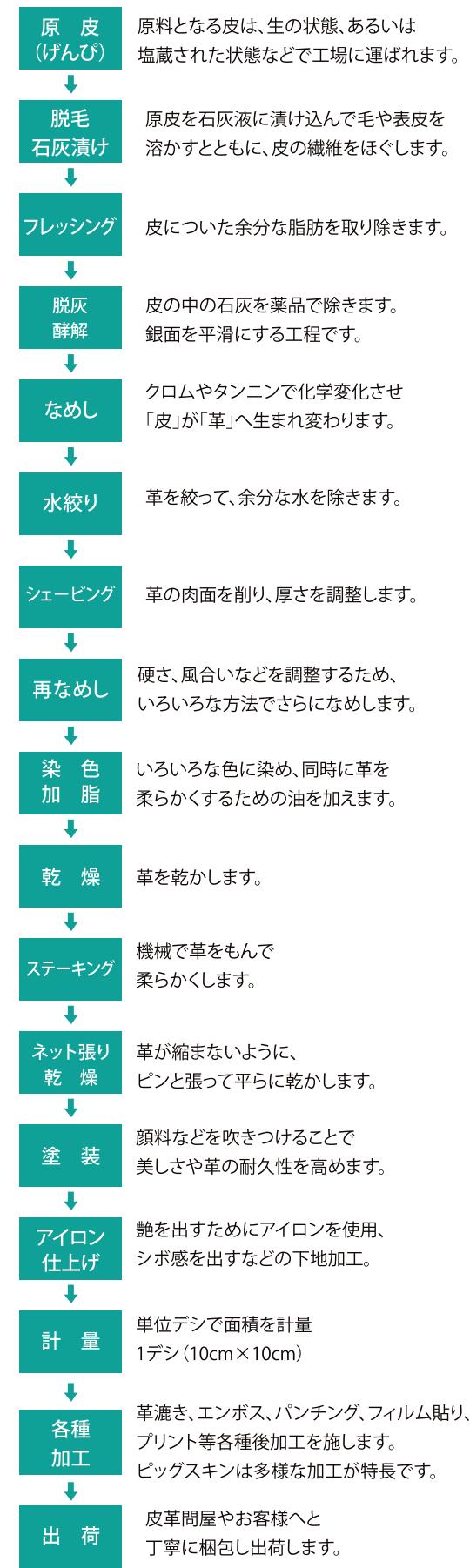
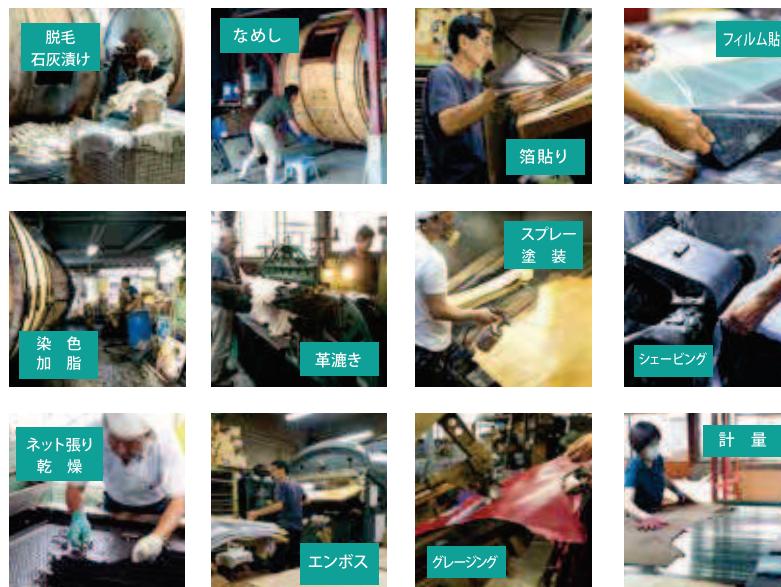
牛革の原皮は1/3が北米などからの輸入ですが、豚革は国内で唯一自給できる素材もあります。そのクオリティや加工技術の高さは、世界の一流メゾンのコレクションにも使われているほどです。



# 皮革加工一覧

代表的な加工をピックアップしました。詳細は各ページまたは各社へお問い合わせください。

	中村貿易	エセカ	兼子皮革染色	墨田革漉工業	墨田キール	ティーエムワイズ	ティグレ	長坂染革	ニシノレザーゼ	福島化学工業	山口産業
下地素材	●自社内で可能	○連携工場で対応									
オリジナル対応	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
スエード手配	●			●	●	●	●	●	●		
その他手配	●			●	●	●	●	●	●		
スエード在庫	●			●	●	●	●	●	●		
その他在庫				●	●	●	●	●	●		
染料染色	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
顔料染色	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
手塗り	●		●	●	●	●	●	●	●		
抗菌		●	●	●	●	●	●	●	●		
シュリンク	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
撥水	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クラック	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ウォッシャブル	●	●			●	●	●	●	●		
柔軟仕上げ	●	●		●	●	●	●	●	●		
グレージング	●	●		●	●	●	●	●	●		
フィルム・箔	●	●		●	●	●	●	●	●		
型押し	●	●		●	●	●	●	●	●		
パンチング	●	●		●	●	●	●	●	●		
転写	●			●	●	●	●	●	●		



## 原料皮の種類

● 豚革  
ピッグスキン。国内で自給できる唯一の革素材。東京都内で全国の7割が作られています。  
100～130デシ。  
独特の3つ穴の毛穴が特徴的。多用な加工により需要を広げています。  
軽くて通気性があり、靴の内側部や衣料品等にも幅広く使用されています。

● 牛革  
原皮主産地 北米、豪州、欧州等、一部国産。成牛半裁で約300デシ。靴、袋物等に使用されます。  
(カウ) 生後1年半以上を経過した、雌牛の革。  
(ステア) 生後数ヶ月程度で去勢された、雄牛の革。  
(キップ) 生後半年から2年の牛。半裁で200デシ。成牛に比べしなやか。  
(カーフ) 生後6～7ヶ月までの牛。1頭60～100デシ。  
スエードがシルキー、価格は高い。

● 羊革  
ほぼ世界全域に生息 50～70デシ 柔らかい。  
原皮主産地 北米／豪州 80～100デシ 比較的高価格。ぎん面のシボが豊か。

## 基礎用語

● ぎん面 (吟面・銀面)  
革の表面となる部分で、独特のシワや凹凸があります。ぎん付き（革）とも言います。  
1：顔料仕上げ  
・雨や汗などの刺激に強く、汚れにくく、汚れが落としやすい。  
・各パートの色あわせがしやすい。  
・触った感触がドライで、色に深みが欠ける場合があります。

2：染料仕上げ  
・触った感触がしっとりして柔らかい、革らしいシボが活かされます。  
・色合いに透明感、深み感があります。  
・各パートで多少色味が違うことがあります。

● スエード  
革の裏面をサンドペーパーで起毛させたものです。  
・ピッグスエードは柔らかく使いやすい素材です。  
・腹部の繊維が荒くまばらに見える部分があります。  
・毛先が弱いので毛切れが起こり色落ちと間違える場合があります。

● ヌバック  
革のぎん面をサンドペーパーで起毛させたものです。  
● 床 (とこ)革  
皮を2層に分割したもので、銀面を持たない方を原料にした革。

● クローム鞣し  
動物の「皮」に化学的な処理を施して、腐敗しにくく、耐久性や強度に優れた「革」を製造すること。  
広く自然界に存在し安全な三価クロムを用いた鞣し方法。  
柔軟性、弾力性、耐熱性、染色性（染める前は青みがかっています）にも優れています。  
タンニンや他の鞣製剤と組み合わせて使用されることもあります。

● タンニン鞣し  
植物の樹皮、葉等から抽出したタンニン（没）で鞣す方法。  
固く、伸びが小さく、可塑性に富みます。  
使い込むうちにエイジング（色が濃くなり、光沢に深みがでる）が起こるのが特長です。

● デシ (DS)  
革を取引する単位で10cm×10cmの大きさ。欧米ではS Q F T (1スクエアフィート=9.29デシ)  
ピッグスキンは平均120デシほどです。



## 石居みさお皮革

販売代理店  
中村貿易株式会社販売代理店  
中村貿易株式会社  
専務取締役  
中村 伸一  
Shinichi Nakamura

## ピッグスエードの色バリエーションは随一。定期的なSNSでの情報発信も

■革を立体のプロダクトに仕立てて  
イメージを喚起

「ピッグスエード」に特化した卸売り企業ということで、この業界の中でも大変珍しい存在として知られている。基本色を押さえつつ、顧客ニーズに応じてバリエーションを増やしていく、カラー展開は80色もある。

専務取締役の中村伸一さんによると、「常に在庫ストックがあるので、『1枚だけ』でも『同ロットの同色を20枚』という発注でもOKです。200枚づつ染めているため、色ブレが少ないので好評いただいている点です。」と話す。

最近では、「革を立体にすることでイメージがわきやすくなるのでは?」という思いから、財布や小銭入れといったシンプルな革小物なども製作している。一枚の革のままよりも、作り手のイマジネーションが喚起されるのではというアイデアだ。ギフトショーにも参加して、カラー展開の強みを活かし、40色のピッグスエードを使ったコインケースなど「色バリエーションが伝わりやすい」ラインナップを考えている。

「今後は“素材屋から発信する革アイテム”という切り口で、自分たちの強みを活かしたOEM商材などの提案も考えています」と中村専務は話す。

■エンドユーザーとのコミュニケーションで  
革の良さを伝える

中村貿易では、ハンドメイドなどを趣味とする一般の方々向けにも、一枚から購入できる革のインターネット販売を行っている。合皮とは違った革のアナログな魅力

や、ピッグやゴートなど動物別の特徴など、HPやツイッター、インスタグラムなどで積極的に情報発信を行っている。

エンドユーザーに対して丁寧に販売することで、互いにコミュニケーションも取れるので、ニーズを汲み取りながら長いお付き合いになることが多いとのこと。

「最近は、アナログである革の良さが、ここに来て見直されているのではということを感じます。ローテクだからこそ、若い世代にとっては魅力的に映るようです。その強みをもっと活かして、幅広い方々に革の面白さを伝えていきたいと思っています」と中村専務。

## Editor's Memo

- ◆30代の中村専務はSNSを積極的に使って情報発信するのが得意。Instagramには新製品などが定期的に掲載される
- ◆80色のサンプル帳は一部500円で販売中。「ベージュ」ひとつ取っても微妙色の違いに驚かされる
- ◆国内産のエコロジカルスエードを下地に使って染めた、健康に配慮したラインナップも豊富



## 石居みさお皮革

〒131-0042 東京都墨田区東墨田3-21-13  
TEL.03-3616-8264 FAX.03-3616-8279

## 問い合わせ

## 販売代理店: 中村貿易株式会社

〒131-0045 東京都墨田区押上3-62-3 中村ビル

TEL.03-6657-4440  
FAX.03-5247-4080  
nakamura@abctown.net



## お客様へ

ピッグスエードの革問屋です。80色以上の色数を常時在庫して、1枚のサンプルから生産分まで、スピードと安定供給を目標に営業いたしております。またピッグレザーを中心とした革の新素材を様々に提案いたしておりますので、お気軽にお相談ください。

## 取扱素材・加工一覧

## 自社内で可能

## 連携工場で対応

豚革 牛革 ゴード シープ  
タンニン鞣し 混合鞣し クロム鞣し ホワイト鞣し エコレザー認定可

## 下地

オリジナル下地対応 最小ロット50枚くらいから サンプル製作可

## 下地を手配可能

スエード スエード以外

## 下地の在庫あり

スエード 80色 小売可 スエード以外

## 仕上げ方法

サンプル製作可 最小ロット 1枚から  
顔料 染料 素上げ 抗菌加工 アンチック シュリンク  
しぼり染 収縮 手塗り 撥水加工 クラック ブルアップ  
パール加工 オイル ウォッシュブル

## 後加工

柔軟仕上げ グレージング フィルム加工 箔加工 型押し 漉き  
縮絨加工 パンチング 転写プリント シルク印刷 カッティング  
3D加工 プリーツ 吟スリ加工 計量 インクジェットプリント



## 超撥水スエード

革を作る工程で撥水剤を革になじませる為、半永久的に効果が発揮されます。革の中に撥水剤が入っているため、水を浸透させず防水効果があります。

## シールドスエード

豚スエードを下地に多色ラメ入りでプリント加工をしています。同系色のラメを使うことによって、控えめな色合いになります。

## Pトラップ

ランダムな糸状に箔が乗っています。  
下地と箔は自由に変えることができます。

## 厚口豚イビツ

厚口豚に加工することにより、革のムラ感が出てフィルムにアンティーク感を出しています。



pigsuede



pigsuede



中村貿易



中村貿易

## 他にない染色や塗装技術にチャレンジし続ける、加工専門ファクトリー

### ■ 4ミリの厚手の革も加工する技術

OEMとして、クライアントから持ち込まれた皮革の、さまざまな加工を行っている株式会社エセカ。ユニークなこの社名は、「江澤染革株式会社」の頭文字から取られている。社名の通り、染色、塗装、二次加工といった、革の繊細な仕上げを得意としているが、「革の柔らかさやしなやかさ」を出す“味”加工のため、ドラムを使って再なものなどを行っている。

ベルト、靴、バッグなどすべてのジャンルにまたがる革素材を扱っているが、特に4~4.5mm厚の牛革の仕上げは、他社でやっているところは少ない。最近では、こういった特色のある厚手の革のニーズが高まっており、独特のツヤ感や革味などが求められている。代表取締役の江澤正喜さんにお話を伺った。

「私たちは国内だけでなく、海外から輸入された革を再加工するという仕事も少なくないです。ヨーロッパの革の素晴らしい技術に触れることが多いので、そういう

革をドラムに入れて希望の色に染色してから、手作業と機械を使って丁寧に水けを絞り、棒にくぎ打ちする。そこから革を伸ばし、1枚づつ天井に掛けながら干していくが、まだ水分を含んでいるため、1枚15キロという重さにもなるのだという。

「手間がかかる作業ですが、いいものを作りたいという一心で続けています。最近では私の甥も入社してくれたので、若手のアイデアをものづくりに活かしていきたいですね。私も父から『失敗してもやるだけやってみろ』と言われながら育ったので、色々なチャレンジをしてほしいと思います。」

江澤社長曰く、以前商社からのオファーで、防水レザーを使った“革製の水着(ウォッシャブル・ビキニ)”を作ったこともあるのだという。ヒットこそしなかったものの、誰もやっていないことにトライするのは本当に楽しかったと、嬉しそうに話される江澤社長。その笑顔が印象的だった。

代表取締役  
江澤 正喜  
Masayoshi Ezawa



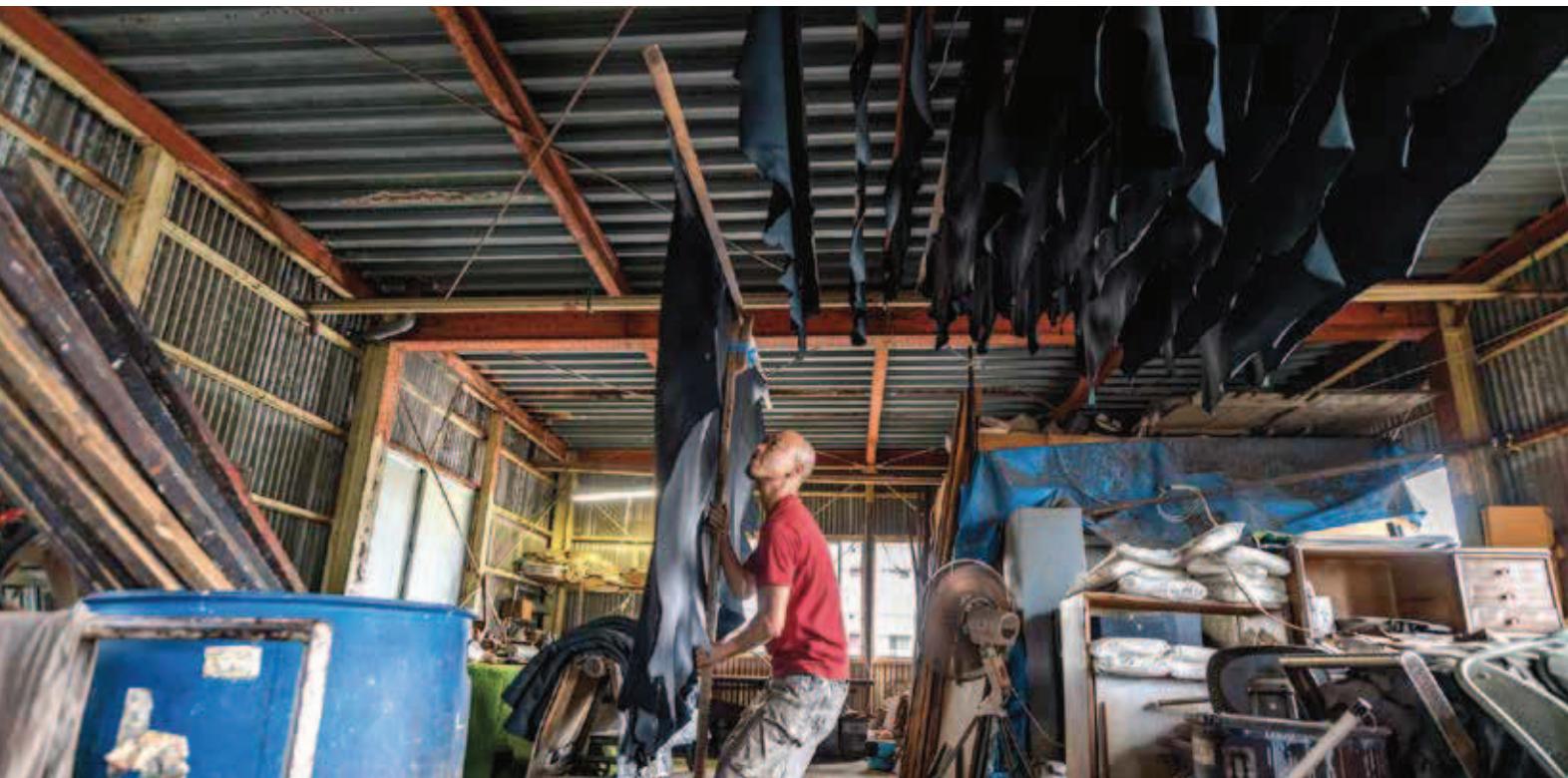
### ■革製の水着まで作ってしまうチャレンジ精神

牛革を背中から2つに割ったものを半裁と呼ぶが、それでも4mmの厚さは、なめすのも乾燥させるのも手がかかる。

### Editor's Memo

◆ウォッシャブル・ビキニだけでなく、「暖めると色が変わるレザー」など、実験的な革の質感を色々と試してきたという。

◆以前は小判ものと言われる、ヤギ、羊革がメインだった。最近は大手老舗メゾンが原皮から押さえてしまい通常の供給が難しく、ヨーロッパ産の羊革の加工が激減しているとのこと。



### 問い合わせ

#### 株式会社エセカ

〒131-0042 東京都 墨田区 東墨田 3-15-19

TEL. 03-3613-8851  
FAX. 03-3613-8854

ESEKA CO.,LTD.



### お客様へ

当社は哺乳類の革の染色・塗装を行っております。革を乾燥させる工程は、なめしの後に重要なプロセスといえます。天井に掛けた革は、ほぼ3日間かけて狙った質感になるまでゆっくり乾燥させて仕上げます。丁寧な手仕事を心がけ、こだわりの素材をご提供いたします。お客様のご要望にお応えできるよう日々努力、ぜひご相談ください。

取扱素材・加工一覧  
自社内で可能  
連携工場で対応

豚革 ■ 牛革 ■ ゴード ■ シープ  
山羊

タンニン鞣し  混合鞣し  クロム鞣し  ホワイト鞣し  エコレザー認定可

下地 ■ オリジナル下地対応 最小ロット5~10kgくらいから ■ サンプル製作可

他社から ..... ■ スエード ..... ■ スエード以外 豚・牛革・ゴード・シープ  
手配可能

下地の在庫あり  スエード 1色

### 仕上げ方法

サンプル製作可 最小ロット 1枚から

■ 顔料 ■ 染料 ■ 素上げ  抗菌加工 ■ アンチック ■ シュリンク

しぼり染  収縮 ■ 手塗り ■ 撥水加工 ■ クラック ■ ブルアップ

■ パール加工 ■ オイル ■ ウォッシャブル

### 後加工

柔軟仕上げ ■ グレージング ■ フィルム加工 ■ 箱加工 ■ 型押し ■ 漂き

■ 縮絨加工 ■ パンチング ■ 転写プリント  シルク印刷  カッティング

3D加工  プリーツ ■ 吟スリ加工 ■ 計量 ■ インクジェットプリント



ソフトヌメ



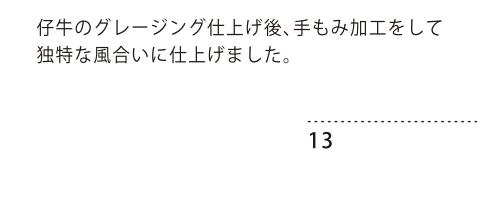
カーキパール



ヌメ



グレードゴート



仔牛のグレージング仕上げ後、手もみ加工をして独特な風合いに仕上げました。